

プロジェクト代表者	柴田雅朗（解剖学・准教授）
共同研究課題名	乳癌転移モデルのリンパ節転移過程における微小環境の腫瘍免疫応答
目的	癌細胞は抗腫瘍免疫を抑制し、免疫系からの攻撃に対する抵抗性を獲得し、転移する。そこで、マウス乳癌転移モデルを用いて、センチネルリンパ節および癌原発巣における転移前と転移後の免疫担当細胞の動態を解析し、転移過程における腫瘍免疫応答を明らかにする。標的とする免疫経路が分かれば、転移抑制研究に繋がると考えられる。
内容	転移前微小環境は転移を成立させるためには極めて重要な要因である。特に、私の有しているマウス転移性乳癌モデルにおいては、センチネルリンパ節の転移前と転移後の段階が精度高く追跡できることから、転移過程における免疫担当細胞の動態を解析しやすい。そこで、共同研究者の方々には、マウス転移性乳癌モデルより経時的に得られたセンチネルリンパ節および原発乳癌組織を用いて、それぞれの専門領域から解析を依頼し、目的に向かって追究してゆく。
学内共同研究者	近藤洋一（解剖学・教授）
	谷口高平（TR 部門・副部門長）
	伊藤裕子（一般・消化器外科学・功労教授）
	白岡千夏（解剖学・技術員）
学外共同研究者	赤尾幸博（岐阜大学・特任教授）
研究費	1,000,000 円